

生活困窮者住居確保給付金支給申請書（規則第11条第1項第2号の規定による支給）					
フリガナ					
① 氏名					
② 生年月日		年 月 日 満（ ）歳			
③ 電話番号					
申立事項	④ 規則第3条の2の場合であること				
	収入が著しく減少した時期				
	配偶者の死亡又は離職若しくは休業等による収入の著しい減少の状況				
	⑤ 収入減少前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること				
	収入減少前の世帯の生計の維持にかかる状況				
	⑥ 次の1又は2のいずれかに該当していること（いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載）				
	1 住居を喪失していること				
	住居を喪失した時期				
	喪失した住居の住所				
	現在の状況				
2 住居を喪失するおそれがあること					
現在の住所					
住居の家主等					
喪失するおそれのある住居の家賃額					
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等					
⑦ 申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること					
フリガナ					合計
氏名					
続柄	本人				
生年月日					
収入（月額）	円	円	円	円	
預貯金等	円	円	円	円	
<p>※申請日の属する月の収入（月額）が確実に推計できる場合はその額を、変動のあるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載する。雇用保険の失業等給付、各種年金等も合算する。</p>					
<p>上記の申立事項に相違なく、規則第13条の規定により、必要書類を添えて住居確保給付金の支給を申請します。</p> <p>私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる範囲で、今治市、社会福祉協議会及び自立相談支援機関の間で相互利用されることについて了承します。</p> <p>また、裏面の注意事項について、同意します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">（宛先）今治市長</p> <p style="text-align: right;">申請者氏名.....</p>					

(注意事項)

- 1 申請内容は正しく記載してください。偽りその他不正の行為によって住居確保給付金を受けたり、又は受けようとしたときは、以後住居確保給付金を受けることができなくなりばかりでなく、不正受給した金額の全部又は一部を徴収されることとなります。
- 2 支給に関して必要な範囲で、法第 21 条に基づき、報告等を求めることがあります。
- 3 支給決定に必要な範囲で、法第 22 条に基づき、今治市から資産又は収入の状況につき、官公署に対し必要な文書の閲覧若しくは資料の提供を求め、又は銀行、信託会社その他の機関若しくは離職した事業主その他関係者に対し報告を求めることがあります。
- 4 支給決定に必要な範囲で、法第 22 条に基づき、申請者の居住しようとする賃貸住宅の家主等に対し当該住宅の状況又は当該住宅の確保に関する事項について報告を求めることがあります。
- 5 規則第 17 条に基づき、申請者に対する住居確保給付金の支給（入居に要する費用）については、今治市が特に必要と認める場合を除き、賃貸住宅の家主等に対して直接振込等をいたします。

(用語)

「法」とは、生活困窮者自立支援法（平成 25 年法律第 105 号）をいいます。

「規則」とは、生活困窮者自立支援法施行規則（平成 27 年厚生労働省令第 16 号）をいいます。

「住居確保給付金」とは、法第 3 条第 3 項に基づく「生活困窮者住居確保給付金」をいいます。

「臨時特例つなぎ資金」「総合支援資金」とは、社会福祉協議会が実施する臨時特例つなぎ資金・総合支援資金をいいます。